

# ～土曜日の豊かな教育環境の実現に向けて～

今後の放課後等の教育支援の在り方に関するワーキンググループ中間取りまとめ(ポイント)

## ◆社会の動向と放課後・土曜日等の教育活動への期待

- 社会の動向： 少子高齢化の進展、グローバル化、科学技術の進歩、地域間格差・経済的格差の進行
- 子供たちの教育環境をめぐる現状： 核家族化、一人親世帯、共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化、学校の小規模化、不登校児童生徒や特別な支援が必要な児童生徒の増加等  
⇒ 今後の多様で変化の激しい社会を生き抜くために必要な力の育成に向け、**社会総掛かりで土曜日等の豊かな教育環境の実現を目指す**



～子供と関わる人材の多様性や学習集団、学習時間、実施場所等の多様性・柔軟性を活かした創意工夫に富んだ教育活動の実践～

- ① 学校での学びが深まり、広がる学習、体験の機会の充実
- ② 安心して産み育てられる環境づくりとしての放課後・土曜日の教育の充実
- ③ 子供たちの主体性を引き出し、実社会で役立つ力を培う学習・体験の機会の充実
- ④ 学習意欲・学習習慣形成・学力向上の観点からの学習機会の充実

※土曜学習：教育委員会など学校以外の者が主体となり、希望者に対して学習等の機会を行うもの。

## ◆地域の多様な人材等の参画による土曜日の豊かな教育環境（土曜学習）の実現に向けた新たな方策

### 1. 多様な主体が土曜日の教育活動に参画する仕組みづくり

- ◆土曜日は、日頃参加が難しい現役の社会人も含め、地域人材や保護者、企業、NPO、民間教育事業者、大学生等の多様な人材の参画が可能
- ◆実社会の経験も踏まえたプログラムの展開に向け、多様な人材が教育活動に参画する仕組みづくりを推進

#### ①地域人材の参画促進

- 豊かな社会経験や指導力を持つ多様な人材の参画促進

#### ②保護者の参画促進

- 働く保護者の参画しやすい仕組みの構築
- PTA、おやじの会等の活用

#### ③企業・団体等との連携協力促進

- 学校の要望と企業の取組のマッチング
- WLBの推進
- 企業内ボランティア登録制度やCSR・プロボノとして関わる仕組みの構築
- 企業人材に対する研修の充実
- 企業の退職者組織等との連携

#### ④NPO・民間教育事業者との連携協力の促進

- NPOのノウハウ（人材や資金のコーディネート能力）の活用
- 学習塾、お稽古ごと、スポーツ、音楽、語学教室等の指導者の活用

#### ⑤大学等の連携協力の推進

- 研究者やポストドクター等の専門人材の活用
- 教育・福祉、スポーツ等の専攻の学生の積極的な参画促進
- 身近なロールモデルとして学生が持続的に参画できる仕組みづくり

### 2. 学校と地域・企業・大学等をつなぐコーディネート機能の充実

- ◆学校と地域をつなぐコーディネーターだけでなく、企業や大学等の多様な主体をつなぐコーディネーターの必要性
- ◆コーディネーターの研修の機会やネットワーク組織等の充実

- 例えば、地域連携を担当する教員の配置や、「地域コーディネーター」、「企業コーディネーター」等をそれぞれ配置し、互いに連携し合う仕組みの構築。
- 学校や地域の関係者、企業、企業の退職者組織、NPO等多様な関係者が学び合う研修の機会の充実 等

### 3. 「土曜日ならではの」多様なプログラムづくり

- ◆地域や企業等の協力を得て、「土曜日ならではの」活きた学習プログラムの展開
- ◆子供たちの主体性を重視しつつ、学校の教育活動との連動した体系的・継続的なプログラムづくり

#### ①実社会につながるプログラム

- 社会で役立つ経験をするプログラム
- 多様なロールモデルや「本物」に触れるプログラムの充実

#### ②企業のリソースを活かしたプログラム

- 学校教育だけでは教えることが難しい実社会の経験を踏まえたプログラム
- 環境教育、キャリア教育、国際理解等の企業の特徴を活かしたプログラム

#### ③学習意欲・習慣形成につながるプログラム

- 就学前の子供たちが学ぶ楽しさに出会うプログラム
- 振り返り学習や発展的な学習の充実

#### ④「地域ならではの」プログラム

- 地域の目標を踏まえ「ふるさと教育」や「学力向上」などの地域の特性や課題に応じたプログラム
- 多様性を重視したプログラム等

## ◆今後の土曜日の教育活動の持続可能な体制づくりにあたって

- 全国の好事例の蓄積・発信等を通じて、官民連携による普及啓発の推進
- 行政内部における首長部局と教育委員会が一層の連携を図り、効率的・効果的な総合的な支援策を講じていくことが必要
- 社会総掛かりでの土曜日の豊かな教育環境の実現